

第二十七回帝國議會
衆議院

商法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十四年三月八日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

鳩山 和夫君

宮古 啓三郎君

菊池

侃二君

渡邊 修君

長島

鷺太郎君

鷗澤

總明君

山本 悌二郎君

松田

源治君

戸水

寛人君

齋藤 二郎君

佐々木

文一君

片岡

直温君

關 直彦君

守屋

此助君

高木

益太郎君

根津 嘉一郎君

鈴木

總兵衛君

木村

省吾君

八束 可海君

花井

卓藏君

加瀬

禧逸君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 子爵岡部 長職君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 河村讓三郎君

司法省民刑局
司法學博士

平沼騏一郎君

司法省參事 齋藤十一郎君

司法省參事
司法學博士

豐島 直通君

司法省參事官 山内隆三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商法中改正法律案

商法施行法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

○委員長(鳩山和夫君) 是ヨリ開會シマス

○法學博士花井卓藏君 改正案ノ第四章ノ二トシテ新ニ題目ヲ設ケラレタル海難救助ノコトニ付テ、政府委員ニ御尋スルノデアリマス、海難救助ニ關スル規定ハ新ナル立

法ニ係ッテ居ルヤウニ認メマスルノデアリマス、是ハ現行商法典ノ缺點ヲ補ハシガタメニ、新ニ立法セラレタモノデアリマス、或ハ又海上衝突ニ關スル國際條約案ヲ法文ノ上ニ現ハスベキ義務トシテ責任ナルガ故ニ、之ヲ法文ニ編立セラレタ次第デアリマセウカ、先ヅ此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス——序デニ尙次ノ問ヲ發シテ置キタ

イト思ヒマス、海難救助ニ關スル問題ハ當然商法ノ規定條項ナリトノ解釋デアリマセウカ、若シ然リトスレバ現ニ行ハレテ居ルコロノ水難救護法ニ關スル現行法トノ關係ハ、如何様ニ相成ルコトデゴザイマセウカ、之ヲ第二ノ問ト致シマス、第三ノ問ト致シマシテハ海難救助ニ關スル國際條約ノ中第十條、第十二條又ハ第十五條、其他十六條、十七條、十八條、十九條等ヲ一瞥致シマス、此會議ニ連リタル國ハ海上ノ救援救助ニ關スル法ノ統一ヲナス點ニ於テ、此協約ノ支配ヲ當然受ケナケレバナラヌ關係ニ解シ得ラル、ノデアリマス、若シ然リト致シマシタナラハ商法典ガ若シ海難救助ニ關スル

規定ヲ缺クト雖モ、此條約ヲ交付セラレシナラバ條約其モノガ法的力ヲ有シテ格段ナル立法ヲ要セザルモノ、如クニモ解シ得ラル、ノデアリ、條約ト法律トノ上ニ於テノ效力ハ、互ニ獨立スルモノナリトノ解釋ナリヤ、換言スレバ多少今日マデ問題ニ相成ッテ居リマス各國憲法ノ上ニ於ケル條約、及法律ノ關聯的効果ヲ正シタイト云フノガ本員質問ノ趣旨デアリマス、最後ノ問題ハ極メテ重大ナル關係ヲ本法ニモ持ツモノデアリマスカラ、十分ナル御明答ヲ請ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 花井君ノ御質問ニ御答致シマス、御質問ノ第一點ハ商法改正案中海難救助ノ一章ハ、現行商法ノ缺點ヲ補フタメニ追加シタル一章デアアルカ、又ハ國際條約ヲ法文ニ現ハシテ商法中ニ規定スル必要ガアルタメニ規定シタルデアアルカ、斯様ニ伺ヒマシタ、大體ニ於キマシテハ現行商法ノ缺點ヲ補フタメデゴザイマスガ、併セテ國際條約ニ於テ我邦ガ內國法ヲ避ケマシテ、其規定ヲ條約ノ趣意ニ依リマシテ適用シナケレバナラヌ場合ガアルノデアリマス、其場合カラ觀測致シマスレバ、ヤハリ條約ノ規定ニ基キマシテ法規ヲ作ル場合ニ作ッタト云フコトニナル箇條ガアルノデアリマス、第二ノ御尋ハ海難救助ノ規定ト水難救護法トノ關係ノヤウニ承リマシタ、水難救護法ノ規定ハ海難救助ノ原案ノ規定ガ成立マシレバ修正ヲ加ヘラルベキ法律ト相成ルノデアリマス、此方ハ主トシテ商法以外ノ事項ヲ規定スルコト、相成ルモノト信ジマス、第三ノ御尋デアリマスガ、海難救助ノ規定ト國際條約ノ規定トノ適用範圍ノ御質問ト承リマシタ、國際條約ノ第十五條ニ依リマスレバ「條約ニ規定スル若クハ救助シタル船舶又ハ救助セラレタル船舶カ訂盟國中ノ一國ニ屬スル場合及內國法ニ規定アル其他ノ場合ニ於テ總テ利害關係人ニ之ヲ適用ス」斯様ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙一層明カニ總テノ利害關係人ガ普通裁判所所在ノ國ニ屬スル場合ニハ本協約ヲ適用セズシテ內國法ヲ適用スヘキコト」ト斯様ニ相成ッテ居リマス、ソレ故適用範圍ガ自ラ異ナッテ參ルモノト信ジテ居リマス

○法學博士花井卓藏君 專ラ此點ニ付テノ質問致シタイト思ヒマス、第十二條ニ訂盟國中、其法令ニ於テト云フ其法令ト云フ文字ガアリ、ソレカラ又同條ニ「訂盟國中其法令ニ於テ前條ノ違反ヲ處罰セザルモノハ此違反ヲ處罰センカタメ必要ナル手續ヲナスコトヲ各自ノ立法府ニ提案スルコトヲ約ス」斯様ナ條文ガアル、是ハ本條ノミニ付テノ質問デアリマスガ、此國際條約ノ趣旨ト云フモノハ内容ニ定メラレタル事項ガ、內國法ノ或場合ニ於テハ條約ヲ履行スル上ニ於テ妨ケナイノデアルケレドモ、若シ條約ニ掲ゲラレタルコトガ內國法ニ漏レテアッタト云フ場合ニハ、此條約通リノコトヲ內國法ノ下ニ規定シナケレバナラヌモノデアルト云フヤウナ意味ノ約束デモアッタノデアアルマイカト云フ事柄ガ、此箇條ニ第一ノ事ヲ極メラレタ點ニ於テ想像シ得ラル、ノデアリマス、ソレカラ十三條ニ內國法ト云フ文字ヲ用非デアリ、十五條ニ內國法ト云フ文字ヲ用非デアアル、此內國法ト云フノハ總テ條約ノ規定事項トシテ內國法ノ存在セルコトヲ想像シタモノデアアルカラシテ、若シ內國法ニ存在シナカッタナラハ條約ヲ行フ上ニ於テ必要ナル規

定アルカラシテ、締盟各國ト云フモノハ、當然内國法ニ規定シナレバナラヌト云フコトヲ要求セラレタル趣旨ハナインアルカト云フ點アリマス、ソレカラ最後ニ此協約ニ對スル我政府ノ所信——締盟國ノ一ツデアルト云フコトハ疑フ容レマセヌガ、未ダ批准ヲモ經ザル此條約デアリマスカラシテ、今後修正ヲ爲スベキ必要ガアツタナラバ、其修正ハ留保スルコトノ出來ル規定ニナツテ居リマスカラシテ、此條約ノ儘デ我政府ハ遺憾ハナインデアリマス、遺憾ナキモノトシタナラバ、此條約ノ目的ヲ達スル上ニ付テ商法中ニ内國法トシテ漏レルモノノ必要ナルモノヲ網羅シテ、立法スルコト云フ事柄モ生ジテ來タノデアアルカト云フ點ヲ承リタイ、先刻御尋ヲ致シマシタ此條約ト法律トノ關係ニ付テハ御答ヲ得ナカッタ、是ハムヅカシイカラ今得ヤウトハ思ヒマセヌガ、政府ノ意見トシテ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、條約ヲ其儘公布シテ法規ト同ジカラ持ツト云フコトデアッタナラバ、或ハ海難救助ニ對スル一章ト云フモノハ無用カ知ラントモ思フノデアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答ヲ致シマス、先づ最初ノ御尋ノ第三點ニ關シテ、先刻御答ヲ致シマシタ點ガ不十分デアッタカモ存ジマセヌ、私ノ申上ゲヤウト致シマシタノハ縱令條約ノ規定ガゴザイマシテモ、其條約ノ適用範圍ガ海難救助ノ原案ノ規定ノ適用範圍ト同一デゴザイマセヌ、故ニ此條約ガゴザイマシテモヤハリ此一章ガ必要デアルト云フ意味ヲ御答シヤウト思ヒマシタノデ、言葉ガ足りマセヌデ惡ウゴザイマシタ、ソレカラ唯今ノ御尋ニ御答致シマス、第十二條ノ點ニ付キマシテノ……

○法學博士花井卓藏君 十二條ハ例ヘバト云フ意味ニシテ貫ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 左様デゴザイマスカ、條約案ニ内國法ト書イテアルノハ現在アルトコロノ内國法ヲ指スノデアラウ、若シナカッタ場合ニハ内國法ヲ制定シテ此條約ニ所謂内國法ト云フモノニスル積リデアアルカドウカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマシタ……

○法學博士花井卓藏君 サウ云フコトヲ約シタル趣旨ト解シ得ルト思ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) ソレハ御尋ノ通りト存ジマス、ソレカラ最後ノ御尋ハ唯今ダ取調デアリマスカラ、今其御答ハ出來兼ネマス

○鈴木總兵衛君 私ハ唯今ノ花井君ノ質問ニ對シテ、政府委員ガ水難救助法中ニ之ト關聯スルモノガ他日修正スルデアラウト斯ウ云フ御意見ト承リマシタガ、第一、六百五十二條ノ三ニ救助上ニ付テ爭ガアルトキニハ、裁判所デ處決スルコト云フ明文ガアル、水難救助法ニ於テ見ルト多クハ浦役場、即チ沿岸各村ノ村役場ガ浦役場トナツテ其事ヲスル、其爭ノコトタルヤ大キイ金額ナレバ十里二十里隔ッタ裁判所ニ持出シテモ已ムヲ得ヌカモ知レヌガ、二百圓カ二百圓ノコトデモ裁判所マデ持出スト云フコトハ、隨分荷主或ハ船主ニ於テモ迷惑デアアル、併ナガラ本法ニ於テハヤハリ此裁判所デ扱フ、斯ウ云フ御趣意ニナルデアラウカ、又浦役場ト云フコトニ付テノ是マデ各村ノ村役場ガ即チ浦役場ニナツテ居ルニ付テ、弊害云々ト云フコトハ前ニ山縣遞信大臣ノトキニ意見ヲ述ベタコトガアル、是等ニ付テ何カ御考アレバ本問題ヲ解決スルニ付テ都合ガアリマスカラ一應承リタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御問ノ御趣意ハ救助上ニ付テ爭ノアリマスル場合ニ、浦役場ニ其爭ヲ決定サセテモ宜イノデヤナイカ、必ズシモ裁判所マデ

持ツテ行ク必要ガナイ場合モアルデハナイカト、其點ニ付テノ御質問ト思ヒマス、六百五十二條ノ三ノ趣意ハ救助上ノ額ガ縱令小額デアリマシテモ、爭ノアル場合ニハ裁判所ガ其爭ヲ決スル趣意デアアルデアリマス、而シテ水難救助法ノ改正ノ際ニ、少額ナル救助上ノ爭ニ付キマシテ國內法ヲ設ケルカ否ヤト云フ問題ハ、マダ取調ベテアリマセヌガ、併ナガラ此際申上ケレバ苟モ私權ニ關スル爭ハ行政官廳デ之ヲ處スル、或ハ行政廳デ處分スルコト云フコトハ唯今我國ノ法制ノ最大原則ニハ合ハナイノデアリマスカラ、唯今御述ベニナリマシタ點ハ考慮スベキ問題トシテ取調ハ致シマセウガ、併シ或ハ其通りナラヌカモ知レヌト存ジマス

○長島繁太郎君 一ツ御問シタイノハ、海難救助ノコトガ初メテ此商法ノ中ニ現ハレテ參ツタノデ、唯今政府委員ノ説明ニ依リマスレバ、國際條約ノ基礎トナツテ商法ノ中ニ規定サレタ、斯ウ云フ御答ノヤウニ承知シマシタガ、凡ソ此國際條約ト云フモノハ各國各協定ガアルノデアリマセウガ、此國際條約ニ見マスルト單ニ國內法ト云フノミデアッテ、別ニ商法中ニ規定スルコトハナイヤウニ承知スルノデアリマス、ソレトモ各國ニ於テ商法中ニ規定スルコト云フ御打合デモアッタノカ、或ハ又外國ノ例デ斯様ナ詳細規定マデ或何レカノ立法例トシテ存シテ居ルノデアリマセウカ、自分ノ考ニ依リマスル所謂内國法デ定メレバ宜イノデアアルカラ、寧ロ斯様ナ海難救助法ノ如キ規定ト云フモノハ、幸ニ水難救助法モアルカラ之ヲ一層擴張シテ、別段ノ立法ニシタ方ガ適當デハナイカト思フノデアリマス、此邊ニ付テ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御尤モナ御尋デアリマス、國際條約ノ中ニ内國法ト書イテゴザイマシタノヲ、之ヲ商法ト解スベキモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、此國際條約ノ會議ニ於テ取定メタノデハナイト信ジマス、ソレハ我國ノ便宜デ宜シイノデアラウト存ジマスルガ、政府ニ於キマシテハ海難救助ノ一章ハ最モ海商法ニ密接ナル關係ヲ以チマシテ、此中ニ一部分トシテ規定致シマス方ガ最モ正當デアルト認メタノデアリマス、サウシテ外國ノ立法例ニ付キマシテハ餘リ廣ク取調ベタ次第デモゴザイマセヌノデアリマスガ、兎ニ角獨逸ノ商法、瑞典、那威、丁抹、佛國、奧太利、伊太利ノ商法等ノ中ニハ確ニ此規定ガアリマス、左様ナ立法例モゴザイマスカラ、旁ノ商法中ノ一節ト致シタ次第デゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 第十二條ノ二項ニ「締盟國ハ前項ニ掲クル規定ヲ執行スルカメ自國ニ於テ既ニ制定シ又ハ後日制定スル法令ハ成ケク速ニ相互間ニ通告スヘシ」ト斯ウ云フ條項ガアルノデス、ソレデ長島君ノ問ニゴザイマシタガ、日本ニハ商法典ニ海難救助ニ關スル規定ハナイ、併ナガラ水難救助法ニ此規定ガアル、故ニ自國ニ於テ制定セラレタルモノハアルモノト見シケレバナラヌ、若シ自國ニ於テ制定シタルモノガナカッタナラバ、速ニ其法令ヲ制定スベキモノデアルト云フ約束ト解セラレルノデアアル、齋藤君ノ長島君ニ答ヘラレタルトコロガ甚ダ簡單ニ失シテ要領ヲ得ナカッタノデスガ、御尤モナル御尋デゴザイマス云フコトヲ冒頭ニ置カレテ、水難救助法ニ於テモ修正ノ途アルカノ如キ意味ノ御答ガアッタヤウニ思ヒマスガ、本員ノ讀ムトコロニ依リマスレバ、日本ノ水難救助法ト云フモノハ行政法並ニ類似不完全ノ商法トデモ名ヅケテ然ルベキモノデアッテ、殆ド此海難救助ノ關係ニ付テ司法的ノ權利義務ヲ規定セラレタル條章ト云フモノハ乏シ

イヤウニ思ッテ居ル、御答ノ如クニ解シテ不完全ナリト雖モ、自國ニ於テ制定セラレタル海難救護ニ關スル法律ハアルノデアル、司法的ノ法律ハアルノデアル、即チ水難救護法即チ是ナリト云フコトニ御答ニナルノデゴザイマセウカ、念ノ爲ニ伺ヒテ置キタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 此海難救助ノ一章ヲ商法ニ入レマスルニ付キマシテハ、水難救護法トノ關係ニ付キマシテソレノ遞信省トモ打合せノ上定メテ次第デゴザイマスガ、遞信省ノ管理局長ノ明言致シマシタコトニ依リマスル、商法成立ノ上ハ水難救護法ハ主トシテ行政的法規ト致スノデアル、司法的關係ノ規定ハ總テ商法ノ方ニ譲ル、斯様ニ明言ヲ致シテ居リマスルノデ、水難救護法ヲ他日如何ヤウニ改正スルカト云フコトニ付キマシテソレノ臺ガ、モウ主務省ノ上ニ打合ガ濟シテ居ル、是等ノ事實ヲ先程カラ申上ゲレバ宜シカッタノデアリマスガ、後レマシタガ申上ゲテ置キマス

○法學博士花井卓藏君 第十六條ニ締盟國ノ委員ハ本協約ニ加フルコトアルベキ修正事項ヲ考究シ且殊ニ出來得ベクシテ其適用ノ擴張スル目的ヲ以テ本協約實施ノ日ヨリ二年後ニ比律悉ニ會合スベシト云フ規定ガアリマスガ、修正事項ノ考究セラレタルモノガアルヤウデアリマスガ、此協約ノ儘デ宜シト云フ御趣旨デアリマセウカ、ソレヲ詳細ニ伺ヒタイ、尙能フベクシテ海法會議ニ列セラレタル當局者ノ出席ヲ煩シマシテ、海難救護ニ關スル海法會議ノ顛末ヲ簡略ニ報告シテ戴キマスルコト云フト、條約ノ精神ガ能ク解ラウト思ヒマス、文書ヲ解リマスレバ文書ヲ宜シウゴザイマシマスルシ、文書ガゴザイマセウカレバ口頭ヲ説明ヲ乞ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ申シテ置キマス

○政府委員(法學博士河村讓三郎君) 水難救助ノ國際條約ニ關係致シマシタ日本政府ノ委員ヨリ本條約ニ關スル大體ノ説明ヲ聞キタイト云フ希望ニ對シマシテハ、書面ヲ以テ御答致シマスルヨリハ、寧ロ委員會ノ御承諾ヲ得テ、委員ガ此席ニ出頭致シマシテ、口頭ヲ御答シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、委員會ヲ御異議ガナレバ其人ヲ出頭致サセマス

○守屋此助君 私人會社ノ財産目錄ニ記載シタル財産價格ノコトニ付テ、此商法ノ二十六條百九十九條ノ一附則ノ十五條、是ダケガ相關聯シタモノデゴザイマシテ、前回ニモ申上ゲマシタ通り、刑罰ノコト、此事トガ今度ノ改正案ノ重大事項デアルト考ヘマスルカラ、此事ニ付テ私ハ七箇條ヲ一ツツ、舉テ質問致シマス、委員長始め諸君ノ御承知置テ願ヒタイ、ソレデ此間私ガ斯様ニ問フタノデス、今度ノ商法改正案ガ提出セラレタル理由ハ、國力ノ進歩ト經濟ノ發展ニ伴フ時勢ノ必要ナル要求ニ應ジテ改正案ヲ出シタト云フノデアルガ、之ニ付テ現行商法此ノ如ク改正シナケレバナラヌト云フ事柄ハ、時勢ノ要求ガドウ云フコトヲ要求シタカ、國ノ進歩經濟ノ發展カラ如何ナルコトヲ要求シタカト、斯様ニ御問致シマシタラ、其答ハ此間斯様ニアッタノデアアル、會社ハ財産ガ生命デアアルカラソレ故ニ會社ノ安固ヲ保ツ生命ヲ健全ニスル、斯ウ云フ事柄デアリマスニ付コトデアリマス、ソレダケノ御答デアリマスカラ、今度ハ問ヲ進メテ申シマスノハ、左様會社ノ財産ト云フモノガ大切デ、會社ガ配當ヲシナイデ、會社ノ財産ヲ多クシナケレバナラヌト云フコトヲ認メラレタル政府ハ二十分ノ一、即チ百分ノ五ノ積立金ヲ一般ニ會社ニ命ズル改正ヲシナイデ、其儘認メテ置キナガラ二十六條並ニ百九十九條ノ二デ此度イロノ政府ガ財産價格ノ見積方ヲ定メ、所謂貴族院デ極メラレタコトノ百

九十四條ノ第二ニ於テ、利益金ヲ處分スルコトガ出來ナイト定メラレタノハ、是ハ實ハ偶然ノ利益ヲ以テ會社營業ヲ安固ニシヤウト云フノデアアル、其理由如何ト云フコトガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ現行法百九十四條ノ規定ニ依リテ、會社ハ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、此規定ハ總テ會社ニ適用スベキモノデアアル、而シテ百九十四條ノ二ノ規定ハ所有財産カラ偶然ニ生ズル利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、然ラバ此方ノ積立ハ偶然ニ生ジタ利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアルカト云フ御問デスカ

○守屋此助君 私人會社ノ利益金ヲ處分スルコトガ出來ナイト定メラレタノハ、是ハ實ハ偶然ノ利益ヲ以テ會社營業ヲ安固ニシヤウト云フノデアアル、其理由如何ト云フコトガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ現行法百九十四條ノ規定ニ依リテ、會社ハ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、此規定ハ總テ會社ニ適用スベキモノデアアル、而シテ百九十四條ノ二ノ規定ハ所有財産カラ偶然ニ生ズル利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、然ラバ此方ノ積立ハ偶然ニ生ジタ利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアルカト云フ御問デスカ

○守屋此助君 私人會社ノ利益金ヲ處分スルコトガ出來ナイト定メラレタノハ、是ハ實ハ偶然ノ利益ヲ以テ會社營業ヲ安固ニシヤウト云フノデアアル、其理由如何ト云フコトガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ現行法百九十四條ノ規定ニ依リテ、會社ハ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、此規定ハ總テ會社ニ適用スベキモノデアアル、而シテ百九十四條ノ二ノ規定ハ所有財産カラ偶然ニ生ズル利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、然ラバ此方ノ積立ハ偶然ニ生ジタ利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアルカト云フ御問デスカ

○守屋此助君 私人會社ノ利益金ヲ處分スルコトガ出來ナイト定メラレタノハ、是ハ實ハ偶然ノ利益ヲ以テ會社營業ヲ安固ニシヤウト云フノデアアル、其理由如何ト云フコトガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ現行法百九十四條ノ規定ニ依リテ、會社ハ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、此規定ハ總テ會社ニ適用スベキモノデアアル、而シテ百九十四條ノ二ノ規定ハ所有財産カラ偶然ニ生ズル利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、然ラバ此方ノ積立ハ偶然ニ生ジタ利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアルカト云フ御問デスカ

○守屋此助君 私人會社ノ利益金ヲ處分スルコトガ出來ナイト定メラレタノハ、是ハ實ハ偶然ノ利益ヲ以テ會社營業ヲ安固ニシヤウト云フノデアアル、其理由如何ト云フコトガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ現行法百九十四條ノ規定ニ依リテ、會社ハ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、此規定ハ總テ會社ニ適用スベキモノデアアル、而シテ百九十四條ノ二ノ規定ハ所有財産カラ偶然ニ生ズル利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアル、然ラバ此方ノ積立ハ偶然ニ生ジタ利益ヲ積立テルコトヲ命ジテアルカト云フ御問デスカ

甚だ安心ノ出来ナイ利益アルカラ、ソレハ處分シテハナラヌ、斯ウ云フダケノコトデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○守屋此助君 此問答ハクドクスル時間ヲ掛ケルコトニナリマスカラ止メマスガ、要スルニ私ノ御問ヲシテ點ニ對スル御答ニナッテ居ラヌデアリマスガ、次ニ進ミマス、株式會社ガ登記スル事柄中資本ハ幾ラト云フコトヲ公ケニ知ラセルト云フコトガ精神デアル、然ルニ此度ノ如クニ會社ノ財産ハ取得價額若クハ生産價額ヨリ超過シタル價額ガアツテモ、ソレヲハ財産目録ニ見積レナイト云フコトヲ主義トスレバ、會社ニハ一般隱レタ財産ガアルカモ知レナイ、而シテ甲ノ會社ニハ隱レタモノガ有ルカモ知レナイ、其代リニ乙ノ會社ニハソレガ無イカモ知レナイ、サウスルト會社ニ登記ヲ命ジ、財産ヲ公示セシムルコト、一年ニ一度ノ課狀ヲ作ッテ天下ニ示ス主義ハ相容レナイコトニナル、生産價額取得價額ヨリ増シタモノハ増スコトハ出来ナイ、元ノ儘ニシテ置クト云フト、或會社ニハ實價以上ノモノガアルト云フ事柄ヲ法律ガ認メルト云フコトハ、登記サレルト云フ精神ニ背キハセヌカ、ソコヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 是ハ貴族院ノ方デ御覽ヲ願ヒタイ、政府モ此趣旨ニ同意致シ居ル、却テ政府案ヨリ貴族院案ガ良クナッテ居ルカモ知レマセヌト思ウテ居ル、此貴族院修正案ニ據リマスレバ財産目録ノ差益ヲ掲ゲナイノデナイ、掲ゲルデアリマス、掲ゲテソレヲ廣告シ得ルデアリマス、原案ト其趣意ガ違ヒマス

○守屋此助君 得ルカラ絕對ニスルト云フコトハ現行法ト違フデアラウト思ヒマス、ソレデ詰リ會社ガ對照表ヲ作ル時ハ必ズ掲ゲルデアラウト思ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 得ルナラバ會社ノ利益ノタメナラ掲ゲルデアラウト思ヒマス、ソレデ詰リ會社ガ對照表ヲ作ル時ハ必ズ掲ゲルデアラウト思ヒマス

○守屋此助君 現行商法デハ絕對ニ其價格ニ據ルベシトアル、然ルトコロ此度スルコトヲ得ト云フデアル、得ルデアラカラスデアラウト云フト、成ベク會社ニサセタクナイト云フ此度ノ立案ノ主意デアルカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) サウデアリマセヌ、株式會社ト雖モ百九十九條ノ二トシテ原案ニ上ッテ居ル會社ノ營業用ノ財産ノ記載方ノ外ハ、一般原則ニ據リマシテ、ヤハリ二十六條ノ規定ヲ適用スル、其故ニドノ財産ニ付テモ時價ヲ掲ゲルコトニナッテデアリマス、貴族院ノ修正ニ據リマシテ、併ナガラ其財産目録ニ掲ゲタ時價ヨリモ取得價額製作價額ニ引カナカッタ時ハ、其差益ハ利益トシテ處分ガ出来ル、併シ是ハ是非對照表ニ載ルモノト信ズル

○守屋此助君 其次ニ第三點ヲ伺ヒタイ、此度政府ガ現行商法ヲ此ノ如ク變ヘナケレバナラヌト御認メニナッダコトハ、害ヲ除ク現行法律デハ斯様ナ害ガアルカラ其害ヲ除クト云フノデ斯ウ云フ利益ヲ起サウト云フノデ、將來ノ利益ノタメカラ改正サレノデアアルカ、害ヲ除クト云フ主意カラ此改正ヲサレル主意ヲサレノデアアルカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 前回モ御答致シマシタ通り會社ノ破綻ト云フ事實ガゴザイマセヌケレバ、財産目録ニ付キマシテハ斯様ニ嚴格ノ規定ハ要ラヌデアラウト思ヒマスガ、併シ破綻ト云フ事實ハアル、併シ破綻ノ事實ハ皆ト云フコトハ申シマセヌガ、營業用ノ損失モゴザイマセウガ、中ニハ差益ヲ保存セズシテ、ソレヲ配當額ニ繰入レルト云フコトカラ生ズルトコロノ事モ明ラカニアルト信ズルノデ其故ニ法律ヲ以テ

左様ナ計算方ヲ禁ジマスレバ、則チ破綻ノ事實ヲ少クトモ減ズルコトガ出来ルト云フ利益ハアルノデ、從テ其利益ノアルトコロハ害ヲ除クコトニナルト信ジマス

○守屋此助君 此度貴族院案直サレマシタ通りニスルト、政府ノサレタ事柄ヨリカ餘程變テ來タト云フ御話ハ其通りデアツテ、此百九十二條ノ二ト云フ所ニ利益トシテ承認スルコトヲ得ズ、斯ウ云フノハドウ云フコトヲ意味スルカト云フト、茲ニ會社ガ缺損金ガ十萬圓アル會社ガアル、然ルトコロガ此取得價額製作價額ヨリ超過シタ茲ニ財産ガアル、之ヲ見積レバ茲ニ二十萬圓ノ利益金ガアル、金ガアルタメニサウスルト十萬圓ノ資本ガアル、後ニ殘ッタ二十萬圓ヲ株主ニ分配セズ、財産ガアルト云フコトヲ財産目録ニ置イテ、所得稅ダケ會社ハ三十萬圓ノ稅ヲ取ラレル、斯ウ云フ結果ガ出テ來ル、其時ニハ各會社ハ十萬圓ヲ填補シタト云フ帳面ヅラヲ拵ヘルト云フコトハ宜イガ、後トノ二十萬圓ハ是ハ會社ノドウ云フモノニシテ置クノデアアルカ、サウシテ二十萬圓ノ所得稅ハ三十萬圓トシテ課セラル、ト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハドウダカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 所得稅ハ甚ダ不注意デアリマシタガ、今記憶致シテ居リマセヌガ、若シ財産目録ノ貸方ノ方ニ課スルモノトシマスト御説ノ如クナリマスケレドモ、所得稅ノ方ハ左様ニナッテ居リマスカドウデアリマスガ、是ハ取調ベテ御答致シマス

○守屋此助君 此通りニナリマス、吾輩ハサウ云フ會社ノ財産ヲ虛偽ニ賣買スルトドウナルト云フト、此度所得價額若クハ生産價額ヨリ超過シタモノヲ之ヲ賣ッテシマフ、虛偽ノ場合ニ——サウスルト之ガ配當ガ出来ル、虛偽ノ賣買ガ出来ル、其虛偽ノ賣買ノ弊ヲ私ハ増長スルト云フコトハ考ヘテ居ル一人デアリマスガ、政府デハ此虛偽ノ賣買ヲスル弊ガ、餘程會社ノ害ト云フモノガ甚シクナルト思ヒマセヌカ、其點ニ付テ政府ハ弊ガ有ルト認メルカ無シト認メルカ否ヤ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯賣買ノ形ニ假裝致シテ、サウシテ此差益ヲ配當致セバソレハ害ガアルモノト認メテ居リマス、併ナガラ事實賣買マス、詰リ餘計配當シヤウト思フカラ詰リ賣買ノデアアル、處分シテシマツテ而シテ處分シ得ベキ利益ヲ現實ニ收メル、現實ニ收メタ場合ハ害ハナイ、唯帳簿上世間ヲ瞞著スルト云フコトハソレハイケンナイデアリマス

○片岡直溫君 唯今ノ質問御答ノコトニ付テ私モ御尋致シテ置キタイ、是ハ大體改正案ハ至極宜イデアアル、今デモ良イ會社ハ決シテ時價ニ見積ッテ居ラヌ、第二十六條ノ如キハ全然今日善良ノ會社ハヤッテ居ルコトデアツテ、此通り即チ茲ニ貴族院ノ修正ヲ利益トシテ處分スルコトヲ得ズトシタデアリマスガ、是ハ實際營業ノ種類ニ依テハ差支ガ起ラザルヲ得ヌト思ヒマス、ソレハ小サナ商賣ヲシテ居ル者ハ差支アリマセヌガ、例ヘバ茲ニ一億圓ノ資本ヲ以テ物產ノ商賣ヲシテ居ルト云フガ如キモノニ致シマスレバ、其多クノ物產中其年度中ニ於テノ價格ノ高下平均ヨリ生ズルトコロノ利益ヲ目的トシテヤルノデアアル、其モノヲ一方ハ取得價額ガ低イ、一方ハ高イカラ差引勘定ハ宜イガ、利益ヲ處分スルコトヲ得ズトシタナラバ、此會社ハ餘程困ルデアラウト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ直接ノ例ヲ舉ゲテ申シテ見タイと思フコトハ、保險業デス、マダ日本ハ保險業ハ大キナモノト申シタトコロガ唯今ノトコロデハ一箇年ノ積立金ハ即チ後期ノ繰越金ニナル

ノハ二百万圓ガ一番大キナ金ト思ヒマス、併ナガラ是ハ御承知ノ通り歐米各國ノ實例
カラ考ヘルト、漸次年々繰越金ハ多クナルノデアリマス、唯今日本ノ狀況デ申シテモ一
箇年少クモ現金デ十五万圓乃至二十万圓、増加シテ行ク、唯今ノトコロデ日本ノ保
險業ハ一番大キイモノガ千四百萬圓乃至千五百萬圓ノ金ヲ持テ居ル大キナ會社デア
リマスガ、ソレガ年々二百万圓、現金デ肥テ行ク、其金ハドウスルカト云ヘバ其三分ノ
一ハ有價證券ヲ買フ、其三分ノ一ハ不動産或ハ其他ノ貸付ニスル、其三分ノ一ハ有
價證券ヲ擔保若クハ銀行ノ預金トスルガ如キハ、今日ノ實際ノ狀況デアラウト思フ、而
シテ其三分ノ一約七十万圓ノ金ハドウシテモ有價證券ヲ買ハザルヲ得ヌノデス、之ヲ買
フニ付アハ一時ニ保險業者ガ買フコトニナレバ、ソレヲ見込シテ高クスルカラ、何時ノ間
ニ買フヤラ分ラヌヤウニ買フノガ當事者ノ宜キヲ得タルモノデ、或ハ五株或ハ十株或ハ
時ニ依ッテ五十株モ百株モ買フノデアッテ、勢ヒ取得價額ニ差ヲ生ズルト云フコトハ當然
デアリマス、之ヲ貴族院ノ修正ニ依ッテ價額ヲ平均シテ損ガアレバ填補スルコトノ出來ル
ヤウニシタルハ當然デアリマスガ、其結果會社ニ依ッテハ七年若クハ八年ノ間ノ營業成
績ニ依ッテ其利益ヲ株主ニ分配シ、或ハ被保險人ニ分配スル制度ニナッテ居リマス、其
年々ノ營業上ヨリ生ズル利益ハ即チ貸付金其他有價證券ノ利子カラ收入スルモノト、
ソレカラ營業上カラ生ズル即チ契約上カラ生ズル利益トヲ以テスルモノハ、通常ノ年或ハ
七年若クハ八年ノ大決算期ニ至ッテハ全部ノ財産カラ見出シテ其益金ノ中、即チ數年
ノ平均ヲ見テ、其平均ノ中或ハ財産ノ安固ヲ保ツタメニ一會社ニ即チ一種類ノ有價證
券中ノ合計ヲ見テ、大凡是デケノ準備ヲ變動ノタメニ存スルコト、シテ、其餘ヲ配當ス
ルト云フノガ當リ前デアル、又サウシテ決シテ害ガ無イ筈デアル、然ルモ其益金ヲ處分ス
ルコトヲ得ズト致シマシタルバ、是ハ勢ヒ處分スルコトハセザルヲ得ヌノデアリマスカラ、既
ニ契約モサウ云フ風ニシテ居ルノデアリマス、營業ノ方針即チ定款モサウシテアルノデアリ
マス、諸デサウシタル場合ニ之ヲ賣ツタ手續ニスル、賣ツタ手續ハ帳面カラ帳面ニ變ヘタト
云フ即チ賣買價格ヲ變ヘタト云フコトヲスルニハ、チヨット仲買ノ手ヲ通スデアリマセウ、
併シソレガタメニ無益ノ手数料ヲ拂ハザルヲ得ヌ、是ハ先日モ商法改正案ガ世ニ公ニナ
リマシテカラ、或會社ノ總會ナドハ株主カラ質問シタル、ソレニ對シテ當局者ハドウ答ヘ
タカト云ヘバ、是ハ實際ニ適合シナイカラ衆議院ニ於テハ必ズ修正ニナルデアラウト思フ、
若シ修正ガ出來ナカッタトスレバソレハ賣ツタ手續ヲスルヨリ外ニ仕方ガナイト云フコトヲ
公言シテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモサウナルデアラウト思ヒマス、併ナガラソレヲサウシ
ナイデ一面賣ツタ益ヲ出シテ、其出タ益カラ尙後年ノタメニ幾分ノ補充金ヲ殘シテ準備
金トシテアルノデアリマスカラ、危險ハ少シモナイ、亦害モナイノデアリマスガ、併ナガラ商
法ノ精神デハサウ云フ拵ヘ事ヲサセナイヤウニ、所謂蝸配當ヲサセナイヤウニト云フ精神
カラ出來テ居ラウト思ヒマス、サウスルト此精神ハドウシテモ實際ニ當該マラヌコトニナル
デアラウト思フ、即チ保險業者ニシテソレデアル、或ハ大キナ物產取引ノ商賣ヲシテ居ル
ヤウナモノハ、前申ス如ク是デハ忽チ行キ詰マルデアラウト思フ、其實地ノ場合ニ付テノ
コトハ御考ニナッテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御質問ハ實ハ至極御尤ナ御質問
デ、其點ニ付テハ政府ニ於テモ十分研究ヲ致シタルデアリマス、成程此規定ヲ適用スル
場合ニ於キマシテハ、物產商、保險業者等、唯今ノ狀況ニ比シマシテ或ハ不便ヲ感ズ
ルコトガアルデアラウト云フコトハ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ繰返シテ申上ゲマスル
ガ如ク、尙又片岡サンノ御述ニナリマシタル通り現實ノ利益ヲ處分スル、現實ノ利益ヲ配
當スル、而シテ假定的ノ利益ハ即チ假定的デアリマスカラ、之ヲ處分スル價額ノ中ニ入
レサセヌト云フノガ趣意デアリマス、無論假定的ト申シマシテモ其中ニハ誰ガ見テモ現實
的ノモノモアリマセウガ、併シソレハ其區別ハ立タヌデアリマス、ソレヲ假定的トスル、ドレ
ヲ現實的トスルト云フコトハ現實ソレガ利益ガアラウト思フモノデモ、急激ナル市場ノ變
動ノタメニ全ク假定的ニナルカモ知レマセヌ、ソレ故ニ是ハ一般ニ通シテ此假定的ノ利
益ハ處分サセヌ、斯ウ云フ趣意カラ來テ居ルノデアリマシテ、或營業上多少不便ナ點ガ
アリマシテモ是ハ仕方ガナイ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○守屋此助君 今度私ハヤハリ前申シタル關係ノ附則ノ十五條ニ付テ、特ニ御問シ
タイノハ但書デス、此附則ノ十五條ニ據リマス「本法施行前ノ最終ノ財産目錄ニ掲
ケタル財産ニ附シタル價額ハ第九十條ノ二及第九十四條ノ二ノ規定ノ適用ニ付
テハ之ヲ其取得價額ハ製作價額ト看做ス」彼處マデハ智慧ノアル規定ナシデス、ト云フ
モノハ今日ノ會社ハ時價ニ依ッテヤレト云フノガ現行法ノ規定デアルカラ、是ニ近イ話ガ
東京ノ株式取引所ノ如キハ彼ノ家ヲ建テタトキノ相場ヨリカハズット高クナッテ居ルカラ確
カニ高クシテアル、其他大概ノ會社保險會社等デモサウ云フモノガアラウト思ヒマスガ、
ソレカラ出來テ居ル、所ガ之ヲ製作價額ヨリ高クシテアルノハ現行商法デハ高クナッタモ
ノハ高クセイト云フ法律ガカラ、法律ヲ守シテサウシタルコトコトコト今度改正商法ガ出テ來ルト
云フト、取得價額若クハ製作價額ヨリ高ク定メタル財産目錄ガ出來テ居レバ、今度
之ヲ引直セト云フ但書「其價額ニ超ユルキハ」ト云フノハ、其「ト云フ事柄ヲ受ケテ來
テ居ルノハ、私ハ最終ノ財産目錄ニ掲ケタル價額此「價額」ハトアル、此價額ヲ受ケテ
其「價額」ト云フノト私ハ讀ムデアル、最終ノ財産目錄ニ掲ケタル價額ガ製作價額若
クハ取得價額ニ超エテ居レバ今度ハ製作價額取得價額マデニ引直シテ今後ハヤラネバ
ナラヌト、斯ウ私ハ讀ムデアリマスガ、サウ讀ムデアリマスガ、

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) ソレハ全ク反對デアリマス、サウデアアリマセ
ヌ、是ハ詰リ先程モ御話ガゴザイマシタル通りニ極ク確實ナ會社ニ於キマシテハ、時價ヨリ
モ餘程低ク値段ヲ附ケテ居ル、殊ニ其消却準備金ヲ積立テアリマスル所デハ、年々其
價額ヲ減シテ行キ居ルノデアリマス、時價ハ附ケテ居ラヌ所ガアル、ソレヲ施行法ノ十五
條ニ依リマシテ取得價額製作價額ト見ルト云フコトデハ、ソレハ事實ノ取得價額製作
價額ヨリモ廉ク値段ガ附ケテアッタ場合デハ困ルカラ、財産目錄ノ價額ガ實際ノ價額ヨ
リ少ナク附ケテアッタトキハ現實ノ買入レ値段ヲ取得價額トスルノダト云フコトデアリマ
ス、全ク御述ニナッタコト、ハ反對ニナリマス

○守屋此助君 此會社ノ——モウ是ガ最終デアリマスルガ、會社ノ財産ト云フモノヲ鞏
固ニスルト云フ事柄ハ、政府ノ今度ノ大體ノ商法ノ精神ハ私ガ見ルトコロデハ小サク一
ツノ會社ト云フモノヲ見テ、國ノ經濟ト云フ事柄ニ私ハ目ガ著イテ居ラヌト云フコトノヤ
ウニ思フノデアリマス、世ノ中ノ不景氣ニシテ會社ノ配當ガ減ルナドト云フ騷ギノ時ニ
當ッテ、利益ノナイト云フヤウナ時ニ當ッテ、會社ガ何トシテモ一割ナラ一割、八朱ナラ

八朱ノ會社ノ配當ヲ維持サセル事柄ハ、國全體ノ經濟ノ上カラ必要ナル、サレバコソ私ガ此處ニ二ツ程ノ例ヲ——此前年アツタ例ヲ申上ケテ見マスルガ、日清戰爭ノ後世ノ中ガ大變不景氣ニナツタ來タ、十五銀行、此十五銀行ハドウ云フコトヲサレタカト云フト、此銀行ハ大名華族小名華族ガ居ッテ、先ツ華族ノ株主ガ多イ、華族ハ配當ノ多少ニ殆ト關係ガ無イガ如クニ思フガサウデハナイ、チャント自分ノ臺所ノ計算ガ定ッテ居ルカラ、此配當ノ多イ少イガ大變ニ影響ガアルト云フ事柄カラシテ、彼ノ財産目錄ヲ作ルトキニ確ニ十五銀行ハ手心ヲ數年セラレタコトガアルデハナイカ、ソレカラモウ一ツハ橫濱ノ正金銀行、是ハ立派ナ帝室御財産ニモナツテ居リ、イロ／＼政府ノ監督モ嚴シイ國ノ特別ノ保護ヲ受ケテ居ル、銀行デアル、此銀行ガ山縣内閣ノ時ニ一億ノ公債ヲ募ッテ、其時ニ「シンジケート」ニ入ッテ二千萬圓引受ケラレタ、アノ時ハ確カニ九十四圓ノ價額デアツタモノガツレガ八十八圓ニ下ツタデアリマス、ソコデ百二十萬圓ノ缺損金ガ出來タノデアアル、此時ノ貸借對照表ヲ御覽ナサイ、丁度下ツタガヤハリ元ノ取得價額今日ノ現行商法ナドニ於テ見ルト、ドウ云フコトデアアルカト云フト、ヤハリ八十八圓ニナツタモノハ八十八圓ニスルガ相當デアアル、ソレニモ拘ハラズ「シンジケート」デ山縣内閣ノ時ニ正金銀行ガ二千萬圓引受ケタ、是ガ八十八圓若クハ八十七圓ニ下ツタモノヲ、ヤハリ九十四圓ニ元ノ價額デヤツテ、株主ノ配當ヲ減サヌト云フコトヲシタノデアアル、是ハ何故サウ云フコトヲシタカ、監督ノ嚴シイ大藏省ガ何故ソレヲ看過シタカ、其他申シマスレバ郵船會社トカ、立派ナ會社ニ數多ノ例ガ彼ノ時分ニアツタデアリマス、世ノ中ガ不景氣ニナツタトキハ一ノ會社ハ一ノ銀行ノ財産バカリヲ見ルト、其時ハビチントヤツテ、配當ヲ減セバ世ノ中ガ益、不景氣ニナル、此益、不景氣ニナルコトハ慎マナケレバナラヌト云フコトデ、大藏省ガ手加減ヲスル、十五銀行若クハ正金銀行ノ如キニ是ガアル、ア、云フ立派ナ銀行デアツタモノサウ云フコトガアル、ソレデアリマスカラ彼ノ時分ニハ大概ノ會社、大概ノ銀行ガソレヲヤツタデアリマス、是デ世ノ中ノ不景氣ガ却テ緩シクデアリマス、彼ノ時嚴シイコトヲヤレバ會社ノ配當ガ大變減ツテ往クカラ、其會社ニハ會社ノ財産ガ殘ッテ宜イガ、世ノ中ハ益、不景氣ニナツテシマフ、サウ云フ事實ヲ司法省ノ諸君ハ知ッテ居ラレカ、ソレハ御承知ガナイノデアアルカ、是ハ餘リ皮肉ノヤウデアリマスガ、浮世ハ司法省ノ諸君トハ少シ變ッテ居ラカ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○加瀬禮逸君 私ハ先達デノ續デアリマスガ、ヤハリ此財産目錄、專ラ商業帳簿ノ記載ノ統一ノコトニ付テ御尋シマス、先達デ此點ニ付キマシテ商業帳簿ノ記載ノ統一ヲ缺イテ居ルト云フ點ニ付テ御問ヲシマシタトコロガ、株式會社ハ財産ヲ記載スレバ合名會社合資會社ハ然ラズ、ソレニ書カヌト云フ御答デアツタ、私ノ問ウテ御答ヲ得ヤウト云フノハサウ云フ區別ヲ聞クタメデアリマセヌ、株主會社ガ物的會社其他ノ會社ガ人的會社位ノコトハ、齋藤君ノ教ヲ受ケヌデモ存ッテ居ル、人的會社デアレバトテ全ク財產ヲ離レテ宜イコトハアルマイト思ヒマス、人的會社デカラ財產ハドノヤウニ不相當ニ積ッテモソレハ我關セズ焉ト云フコトデアツタナラバ、ヤハリ會社ノ基礎ハ薄弱ニナツタ來ルカラ、人的會社デアツタモノ財產ヲ餘リ過大ニ積ラズシテ、財産ノ基礎ヲ確實ニセシムル方ガ宜イデアアルマイト云フ問デアリマス、詰リ人的會社デアツタラト云ウタトコロガ、多クノ取引ガ皆商行爲ニ關係スルノデアリマス、財産ヲ土臺トシテノ取引ヲスルノデアアルカラ、

此人的會社ニ付テモヤハリ財産ノ價格ハ内輪ニ積ラシテサセルヨリハ財産ノ價額ノ評價ヲ嚴格ニシテヤル、サウスレバ會社財產ノ安固ガ期セラレラカ、世人ノ之ニ對スル信用ガ高マツタ來テ、會社モヤハリ信用本位トスルコロノ合名會社合資會社ニ於テモ同様デアアル、何故其點ニ於テ及ボサヌノデアアルカ、言換ヘレバ若シ人的會社ニ對シテ株式會社ノヤウナ規定ヲ御執リニナリマシタナラバ、ドウ云フ不都合ガアリマスカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 先日御答ヲ致シマシタノハ言葉ガ足りナカタメニ、唯今ノ御言葉ヲ頂戴シマシタノハ誠ニ恐縮デスガ、實ハ此合名會社合資會社ニ付キマシテ、株式會社ト同ジヤウナ財産目錄ヲ調製セシムル必要ガナイト認メテ居ルノモ、或ハ繰返サウニナルカモ存ジマセヌケレドモ、兎ニ角株式會社ノ方ハ財産目錄以外ニハ責任者ハナイノデアリマス、合名會社、合資會社ノ方ニハ無限責任者ガアリマシテ、實ハ其人ト云フモノ、信用ヲ土臺トシテ取引ヲ致シテ居ルノデアリマス、其人ニ信用ガナケレバ大キイ取引ハ事實出來ヌノデアリマス、ソレデ合名會社合資會社ニ付キマシテハ株式會社程財產ヲ極端ニ安固ニスルト云フ必要ハナイノデアリマス、ヤハリ一個ハノ商人ノ財産目錄ト同ジヤウニスルデ十分デアアル、先達デ御答ヲ致シマシタ趣意ハサウ云フ趣意デアリマス

○松田源治君 本員ハ此商法ノ改正ノ主義ニ付テチヨット御尋申シテ置キマスガ、今マデ司法省ト致シマシテハ商法改正ニ付テ衆議院議員等ヨリ商法ノ一條二條等ノ改正ニ付テ議案ヲ出シマシタル時分ニハ、其内容ハ全然同意シテ居ルニモ拘ラズ、追ッテ商法ノ修正ガ大部分ニ向ッテアルカラソレマデハドウモ同意スルコトガ出來ナイト云フ理由ノ下ニ、本員等ヨリモ提出シマシタルコロノ會社ノ合併ニ關スル規定ノ改正案ノ如キハ、二回共賛成デアアルカ反對デアアルカ能ク分ラナイ、曖昧ノ下ニ貴族院ニ於テ葬ラレテ居ルノデゴザイマス、吾々ハ法典ノ改正ニ付テハ殊ニ商法ノ如キ法典ノ改正ニ付テハ、必要ガアレバ毎年々々一箇條カ二箇條位改正シテモ差支ナイノデアアル、寧ろ其方ガ國ノ狀態ニ付テ適シテ居ルモノト考ヘ居リマス、或ハ七年トカ八年トカ十年經ツタ後ニ、今回政府ノ出サレタ何百條ト云フ修正ヲナサズシテモ、一年毎ニ一箇條二箇條ノ改正ガ必要デアアルナラバ個々ノ修正ヲナス方ガ、國民ノ要求ヲ充タスコト、信ジマス、然ルニ政府ハ今回ノ改正案提出前ニ殆ト此改正案ニ規定シテアルト同様ナル規定ノ改正ヲ、商法ノ一箇條二箇條ニ向ッテ修正ヲ加ヘルト云フ時分ニハ、極端ニモ反對致シテ、内容ハ賛成デアアルケレドモ何レ大部分ノ修正ヲナスマデハ政府ハ同意スルコトガ出來ナイト云フコトヲ以テ反對シテ居リマシタガ、此商法ノ今回ノ改正案ヲ見マスレバ、隨分此後ニ改正シナケレバナラヌコトガ明年明後年ニ起ラヌトモ限ラヌ、必ズ起ラデアラウト思ヒマスガ、其時分ニ衆議院カラ或ハ一條或ハ二條ノ改正ニ向ッテ法律案ヲ出シタ時分ニ於テハ、政府ハ今マデノ主義ヲ固執致シマシテ、數年後ニハ又商法ノ大修正ヲ加ヘルカラ、ソレマデハ内容ハ同意スルケレドモ、ドウモ此通過ニ向ッテハ反對セザルヲ得ズト云フヤウナ理由ノ下ニ拒ムヤウナコトガアルト、吾々ハ大ニ考慮シナケレバナラヌノデゴザイマス、必ズ此商法改正案ガ通過致シテモ一年二年ヲ待タズシテ改正シナケレバナラヌコトノ箇條ガ出テ來ルコト、思ヒマスカラシテ、此商法改正案ノ通過ニ付テ政府ノ聲明ヲ本員ハ聽キタ

イノデゴザイマス、ソレハ政府ハ從來マデ執リ來タコロノ主義ヲ今後モ執ツテ、一條ニ條ノ改正ニ向ッテハ縱令其内容ニ於テハ全然同意サレテ居テモ、數百條ノ修正ヲ七年ノ後八年ノ後十年ノ後ニスルカラ、ソレマデ待テト云フコトヲヤハリ唱ヘラレノデアリマス、ドウデゴザイマス、此點ハ重大ナルコトデゴザイマス、成ベク司法大臣カラ御聲明アラムコトヲ希望スルノデアリマス

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今松田君カラシテ商法一部ノ改正ノコトニ付テ、是マデ衆議院カラ發案ヲ致シタルコロノ一部改正案ニ對シテハ、政府ハ同意致シケレドモ商法大體ニ付テノ改正調査中デアリカラ、其際ニハ改正ヲ施ストモ唯今ハ同意ヲシナイト云フコトデアッタガ、此度此大改正ガ通過致シタル曉ニハ、又一部ノ改正案ヲ提出致シタル場合ニハ、政府ハ以前ノ如ク一部ノ改正ニハ同意シナイコトデアリカト云フ質問ノヤウニ聽取リマスガ、其通リデアリマス

○松田源治君 其通リデアリマス

○司法大臣(子爵岡部長職君) 一部ノ改正ニ付テ是マデ其都度ニ同意ヲ致シマセナカッタコト云フハ、既ニ此度發案ヲ致シテ居リマスル大體ニ付テノ大改正調査中デアリマシタニ付テ、改正調査ノ完了ノ期モ近キニアル、サスレバ總テ共ニ改正ヲ致シタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ以テ、意見ヲ申シタコト、存シテ居リマス、而シテ此度此大改正ガ成リマシテ通過致シタル曉ニハドウナルト申シマスレバ、是ハ縱令一部ノ改正ト雖モ、必要ト認メタル場合ニハ或ハ政府カラ發案致スコトモアリマセウシ、又貴族院衆議院ノ方カラ發案ニナリマシテモ政府ハ同意ヲ致シ、改正ノ必要ヲ認メタル場合ニハ一部ト雖モ決シテ今大改正ヲ致シタカラ、是カラ何時マデモ數年ノ間少シモ改正ヲ致サヌト云フコトノ豫言ヲ致ス必要ハナイダラウト思ヒマス、必要ト認メタル場合ニハ何時デモ御同意ヲ致シマス、併ナガラチヨット申添ヘテ置キマスルケレドモ、商法ノ如キハサウ容易ク屢變ヘルト云フコトハ決シテ望マシイコトデアリマセヌデアリマス、此度審査ニナッテ居リマス改正ニ於テ、出來得ベキダケノ改正ヲ致シタラ宜カラウト思フ、故ニ諸君ニ於カレテモ此際是非修正ヲセネバナラナイト云フコトデモアリ、又條文中ニモ修正ヲ加ヘラレルト云フコトデアラナラバ、又政府ハ御同意ヲ致シテモ宜イコトハ御同意スルコト、考ヘテ居リマス、大體ニ於テ決シテ唯今此改正ヲ致シタカラ、是カラ數年ハ少シモ直サナイモノデアルト云フコトヲ斷言致シマス必要ハナイト考ヘマス

○松田源治君 司法大臣ノ御答辯ハ了承シタノデスガ、今日マデ司法省ハ内容ニ同意セラレテ居ッタガ、近ク大改正ヲスルカラ其時分マデ待タネバ此通過ヲナスコトガ出來ヌト云フ趣意デゴザイマシタノデ、貴族院衆議院等カラ出マシタ今後ノ案ニ付キマシテハ、内容ニ政府ガ賛成スル時分ニハ一條ノ改正、個々ノ小改正ニモ政府ハ同意サレト云フ意味ニ承知致シマスガ、其通リデアリマス

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答致シタ通りデアリマス

○松田源治君 ソレカラ引續イテ二三小サナ事デスガ質問シタウゴザイマス、現今ノ合資會社ハ一個人ガ破綻スル時分ニ、債務ヲ免ル、爲メニ合資會社ノ出來ルノハ澤山アルノデアリマス、眞ニ合資會社ヲ拵ヘルニ非ズシテ差押ヲ免レ強制執行ヲ免レテ債務ヲ免ル、タメニ合資會社ヲ創立スルノガ多ウゴザイマスガ、斯ルコトハ實業ノ發達上經濟

界ノ秩序アル發展カラ行キマシテモ、餘リ慶スベキ事デハナイト考ヘマスガ、此商法ノ大改正ニ付キマシテハ斯ル點ニ向ッテ政府ハ考慮ヲ費サレタノデアリマス、如何デアリマス、此大改正ノ商法全體ヲ見マシテモ、斯ル規定ハ毫モナイノデアリマスガ、之ニ付テ政府ハ考慮ヲ費サレタコトガアルナラバ、如何ナル考慮ヲ費サレタノデアリカ、又ハ之ヲ希望シテモ到底法文ニハ規定スルコトノ出來ナイト云フタメニ其規定ガナイノデスカ、此點ニ付テ伺ヒタウゴザイマス、第二ニハ百四十五條ノ但書ヲ削除シタルノデアリマス、(但シ一時ニ株金ノ全額ヲ拂込ヘキ場合ニ限リ之ヲ二十圓マデニ下スコトヲ得)之ヲ削除シタルノハ如何ナル理由デゴザイマス、五十圓券ノミニシテ五十圓全部拂込メバウレデ宜ウゴザイマスガ、四分ノ一拂込シテ十二圓五十錢拂込ムヨリモ、二十圓ノ株式ヲ現行商法ノ如ク拵ヘテ全部拂込マセル方ガ、株ノ轉讓ノ便宜ヲ得ル爲メニモ宜ウゴザイマス、且ツ株ヲ持ッテ居ル人ノ危險ノ減少ノ點ニ於テモ宜カラウト思フノデアリマス、寧ろ現今ノ經濟社會ノ狀態ニ於テハ現行商法ノ但書ヲ存シテ置ク方ガ實業界ノ希望ニ副フモノト考ヘマスガ、政府ハ五十圓券限リニシタル理由如何、現行商法ノ二十圓ノ全額拂込ノ株式發行ヲ許サナイシタル理由ハ如何デアリマス、此點ニ向ッテ説明ヲ求メマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答致シマス、第一ノ御尋ノ點付キマシテハ政府ニ於キマシテ、唯今御述ベニナリマシタヤウナ事實ガアリマシタコトハ認メテ居リマス、併ナガラ此點ハ商法ノ規定トシテハ如何デアリマス、詰リ商法ノ改正案ヲ讀シマス當時ニハ、餘リ問題ニハナラナカッタノデアリマス、是ハ想ヒマスルニ學說上種々說モアリマセウガ、詐害行為廢罷權ニ關スル規定モゴザイマス、ソレカラ縱ヒ斯樣ニ致シマシテモ責任ハドコニモ負ヒ且ツ無限責任社員モアルコトデアリマス、其方デモ救済ガ付クデアラウ、餘リニ弊害ノ甚シイモノデアッテ、ドウシテモ法律ニ規定セネバナラヌト云フ問題デアリマス、モウ一層適切ニ考ヘル場合モゴザイマシタラウガ、是ハ實ハ意見ノ出テ居ラヌ點デゴザイマシタ、ソレ故ニ今申サユナ左程ノ問題トハナラナカッタノデアリマス、第二ノ御尋デアリマスガ、是ハ十分研究ヲ致シマシタ、詰リ此株金ノ額ヲ限定致シマスル趣意ハ何レニ在ルカト云フ問題極マルデアラウト思ヒマス、是ハ申上ゲルマデモナイ小額ノ株式ヲ認メマスル、比較的資力ノ少ナイモノニ會社熱ヲ吹込ミ、其結果從來ノ事實ニ於テ各國經濟界ニ非常ナ惡影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ成ベク株式ノ金額ノ最低額ヲ制限スル、而シテソレハ成ベク多クノ額ニ制限スルス様ナ立法ニナッテ居リマス、二十圓ト云フ額ハ我國ノ今日ノ狀況カラ見マシテモ餘リニ低イダラウト思フ、或ハ五十圓モドウデアラウカト思ヒマスノデアリマスガ、是ハ殆ド一般ニ行ハレテ居ル規定デアリマス、之ヲ改メラマデノ必要ハ認メナイノデアリマスガ、併ナガラ五十圓ト云フ額モ餘リ適當ナ額トモ認メラレナイ、ソレハ此二十圓ノ方ヲ削リコトニ致シマス、尙實際ノ事實ヲ能ク調ベテ見マス、一時ニ拂込マシメテ二十圓株ニ致シタル例ハ甚ダ少ナイノデアリマス、サウシテ此規定ガアリマス、却テ疑フ起スノデアリマス、其疑フ起ス點ハ此但書ノ規定ハ御承知ノ通り、初メ一時ニ全額ヲ拂込シタ場合ニ限ッテ二十圓マデニ下スコトガ出來ルト云フ趣意デアリマス、初メ四分ノ一ヲ拂ヒ其次二十圓ニ達スルマデヲ拂込マシテ、サウシテ未拂金ヲ切捨テ、一時拂二十圓ノ株ニスルト云

フコトが出来ルカ否ヤト云フ問題が起シテ來マス、一時二十圓ヲ拂込マシメテ全額拂込ニ
スルト云フ例ハ少クシテ、却テ四分ノ一ヲ拂込シテ二十圓拂込ノモノニシヤウト云フ事
ニ努メル例ハアリマス、左様ナ疑問ヲ殘スノデアリマス、旁私ハ削ルコトヲ相當シテ削
リタイノデアリマス

○片岡直溫君 本員ハ極ク簡單デアリマスガ、三點御尋ヲシタイ、ソレハ本員ハ商法
ニ對スル質問ハチヨット終ル積リデアリマス、免ニ角簡單ナコトデアリマスガ、ソレハ倉庫證
券ノコトデアリマスガ、是ハ隨分世間デハヤカマシイコトデアリマシテ、今之ヲ論ズレバ長イ
コトデアリマスガ、既ニ一枚證券ヲ貴族院ノ方デ認メラレタ、即チ三百八十三條ノ二ヲ
加ヘテ倉庫證券ト云フモノヲ一ツ認メタデアリマス、倉庫證券ト云ヒ預證券ト云ヒ同
ジデアリマスガ、唯約束手形ヲ書イテソレニ見返品トシテ出來ル便宜上カラ實際ヤテ居
ルトコロノモノヲ認メルタメニ、是ガ一箇條ヲ挿入サレタコト、思ヒマス、ソレハ至極結構
ナコトデアリマスガツマリニ一枚證券ト一枚證券ト二ツニ付テノ意見ハ、討論ノ場合ニ於
テ論ザヤウト思ヒマスガ、既ニ一枚證券倉庫證券ト云フモノヲ認メテ置キナガラ、此三百
五十九條ヘ持シテ來テ預證券及質入證券ニ——其手前ノ三百五十八條ニ「倉庫營
業者ハ寄託者ノ請求ニヨリ寄託物ノ預證券質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス」トシテア
ル、サウシテ倉庫證券ノ場合ニ於テ寄託者ガ請求ヲシテ來タ場合ニハ、倉庫業者ハツ
レニ應ズル答ハナイト思フ、是ハ恐ラク貴族院ノ修正ガ落チタデアリマスマイカ、即チ三
百五十八條ヘ預證券及質入證券又ハ倉庫證券ト云フモノ、文字ガ入ラナケレバナラナ
カッタト思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマスサカト云フコト、ソレカラモウ一ツハ商法改正
案——是ハ貴族院ノ方デナクシテ三百八十三條ノ二、三百八十四條ノ二——三百八十五條
ノ二、茲ニ持シテ來テ此期日前ニ貨物ヲ出シテ其支拂ヲスルコトヲ許シタ、是モ必要ナ
コトデアリテ其中カラ幾分カ出シテヤルト云フコトモ必要デアリマス、頗ル時期ニ適シタ條項
デアリマスガ、擬之ヲ御認メニナルト云フト、今ノ所謂倉庫證券ニ記載ノ荷物ノ場合モ、
是ハ同ジ場合ヲ示シテ置カヌト云フト、實際ニ於テ差支ノ出來ルコトハ同ジデナイカト思
ヒマス、即チ三百八十四條ノ二、次ニ三百八十五條ノ二トシテ丁度同一ノ意味ヲ掲ゲテ置
ガレルハ、倉庫證券ト云フモノヲ認メラレタコロノ趣意ニ適フ答デアリマスガ、ソレガ一
向貴族院ノ修正ニモナイ、政府ノ方カラノ御修正ニモナイハ如何ナルコトデアリマスガ、
斯ウ云フ事ト、ソレカラ今度ハズット先ニ行キマシテ保險契約ノ事項デアリマス、三百九
九條ノ二、是モサウ前後ヲ論ズルマデモナク此解約ヲ豫告スル場合ニ、一箇月トアル、此
一箇月間ト云フコトガ事實ニ於テ當業者ハ非常ニ困ル事デナイカト思ヒマス、ソレハドウ
云フ譯カト云フト、必ズ被保險人ガ契約ヲシテ置イテサウシテ旅ヲスル、其旅ヲスル所ハ
郵便ガ一箇月内ニ到著スル所ナレバ其取調モ出來マスガ、是デハ其取調ハ無論出來マ
セヌデ、無効ヲ通知シタ所ガ通知狀ヲ受ケルコトガ二十日以内デハ實際出來得ナイ所
ニ被保險人ガ居ルデアリマス、チヨット例ヲ申シマスレバ、南亞米利加ノ方デ此亞爾然
丁、亞爾然丁邊リヘハ四十三日カ、リマス、伯刺西爾邊リニ行キマス、三十八日カラ都
合ニ依テハ五十一日カ、ル、ソレカラ亞米利加ノ方ノ經由ハ秘露ニ行クモノガ三十八日
智利ニ行クニハ四十四日墨西哥ノ方ニ行キマスニモ米國ヲ經由シテ二十二日カラ二十
七日、印度マデハ……印度マデ行テ「ケーブタウ」ニ行キマスニハ船ニ乗テハ四十四日

カラ五十日カ、ル其他新西蘭トカ「シドニー」等ニ行ク場合ニ於テ其取調ヲスル場合ニ、
質問ノ要ガアリマシテモデス、往復位ノ時日ハ要シテ置カケレバナラヌ、ソレガ調ベモナ
モセズニ解約ヲ通知スルト云フコトハ、實際ニ於テ出來得ヌト思ヒマス、少クトモ二箇月
位ニシテ置カケレバナラヌト思ヒマス、大抵三十日ナラバ行ケル積リデアッタト云フ御趣
意デアッタノデスカ、承リタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答致シマス、第一點ハ倉庫證券ノ規定
ハ現行法ノ第三百五十八條ノ處ニ規定セラレベキノヲ誤シテ此ニ出テタノデハナイカト是
ハ書キ方ハマツイカ存ジマセヌケレドモ、是デ宜イ積リデアザイマシテ、御希望ノ通りニナル
積リデアリマス、詰リ寄託者ガドチラデモ請求ガ出來マス寄託者ガ倉庫證券ノ方ヲ請求
スルカ預リ證券質入證券ヲ請求スルカ、寄託者ノ希望通りテ出來ルト云フ趣意デアリ
マス

○片岡直溫君 三百五十八條ニ倉庫證券ガ書イテナイノデスカドウカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 三百八十三條ノ二ガアレハ澤山デ此處ニ
這入ッタ見テ宜ウゴザイマス

○片岡直溫君 ソレハ違ヒマセウ、三百八十三條ト趣意ガ違ヒマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 三百五十八條ノ規定ハ「倉庫業者ハ寄託者ノ請
求ニ依リ寄託物ノ預證券及質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス」ソレデ請求ガアツラ交
付スル義務ガアルト云フコトヲ書イテ、同時ニ三百八十三條ノ二デハ、倉庫業者ハ寄
託者ノ請求ガアルトキハ同ジク倉庫證券ヲ交付スルコトヲ要ス、ト兩方共義務ガアルト
云フコトヲ竝ベル規定デアリマスカラ、一向差支ナイ積リデス

○片岡直溫君 倉庫證券ト云フモノガナイノデス、倉庫證券ト云フモノハ今貴族
院デ始メテ此所ヘ三百八十三條ノ二ト云フモノハ倉庫業者ハ寄託者ノ請求アルトキ
ハ預證券及質入證券ニ代ヘテ倉庫證券ヲ交付スルコトヲ要ス、倉庫證券ニハ預證券
ノ規定ヲ準用スト、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、第二節ノ所デ倉庫證券ト云フモノ
ハ預證券ト同ジアルケレドモ、新ニ倉庫證券ト云フモノヲ加ヘタノデアルカラ、此所ヘモ
加ヘテ置カヌト云フト變デハナイカト云フノガ私ノ問デアル、併ナガラ要ラヌト云フコトニナ
ルト、ソレハ別ニ議論ニナリマスカラ、ソレデ宜シ

○政府委員(山内確三郎君) 三百五十八條デケデ足リナイカラコ、デ三百八十三
條ノ二ニ倉庫證券ニハ預證券ノ規定ヲ準用スト云フ結果ガ三百五十九條モ此方針ニ
依テアル、其他預證券ニ關スルコトハ一切茲ニ規定セラレタノト同ジコトニナツテ居ル、總
テノ條文ハ三百五十八條ト變ラヌノデ、三百八十三條ノ二ハ總テ之ヲ準用シテ發行ノ
方式發行ノ義務モ總テ皆定マツテ居ル積リデアリマス

○片岡直溫君 サウスルト三百八十三條ノ二ト云フモノニ、返濟期限ノ前ニ於テ其委
托物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ許シテ居ル、然ラバ倉庫證券ニモソレヲ許スト云フ
コトモ今ノ御説明ニ依ルト含シテ居ルト果シテ見ラル、ノデアリマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 三百八十三條ノ二デス、是ハ準用ハナイノデス、何故準用
ガ無イカト云フト、今片岡サンノ話ノ通り、倉庫證券質入證券ハ別段ニ作ラナイデ手形
ノ見返ニ渡スト云フヤウナコトニナルト、其證券ヲ質入シタトキニハ受ケタモノガ必ズ債權

者ナノデス、所ガ三百八十條ノ二ハ預證券ノ所持人ガ一部ヲ出庫スルコトガ出來ル規定
デ、其規定ハ倉荷證券ニ準用ハ出來ナイノデアリマス、倉荷證券ハ質入ノ場合デ倉荷證
券ノ中ノ一部ヲ引出スニハ、必ズ荷主トシテ倉庫者ト二人承諾ノ上デ、同行シテ其
所デ引出スコトガ出來ルガ、一方ノ荷主一人デ一部ヲ出庫スルコトガアツテモ役ニ立
タヌノデ、承諾スレバ二人同行ノ上出セル、テソレヲラコ、ニ規定スルコトハ必要ハナイ
ノミナラズ甚ダ錯雜困難ヲ來スグラウト思ヒマスカラ、ソレデ三百八十條ノ二ハ準用ハナ
イノデアリマス

○片岡直溫君 ソレハ政府ノ御覽ニナツタコロノ御答トシテハ能ク承知シマシタガ、少
シク政府當局者ハ實際ノ取扱上ノ狀況ヲ御會得ナイモノデアルト思フ(「ヒヤ」)ト呼フ
者アリ)ソレハ倉庫證券ト申シマシタコロガ預證券ト申シマシタコロガ、今ノ一枚ト申
シマシタコロガ其事實ハ同ジコトニナツテ居ル、一枚ノ場合ハドウ云フコトニナルカト云フ
ト、一枚ノモノヲ斯ウ具中カラ切ルヤウニシテ一枚ニシテ置イデ、一方ヲ預證券トシ一方ニハ
質權設定ヲ書イテ置ク、乃チ其一枚ハ必ズ密著シテ此手形ノ見返品ニスル、擔保質權設
定デアリマスカラ此場合ニ擔保ト言ウノデアリマセウガサウシテ持ッテ居ル、決シテ之ヲ離レ
離レニシテ居ラヌノデアリマス、今日ノ倉荷證券ト云フモノニ致シマシタコロガ、唯便宜ニ
ナルト云フダケノコトデアツテ、其實ハチツモ違ッタコトハナイ、毫末モ違ッタコトハナイ、所デ
一方ニ於テ既ニ倉荷證券ト云フモノガ認メラレルナラハ格別デアリマスケレドモ、今度ノ
二枚證券ナルモノハドウナツテ居ルカ、私ハ茲ニ其材料ヲ持ッテ居リマスガ御覽ニナツテモ
直グ分ル、ソレハ必ズ真中ヲ切ルヤウニシテ兩方使ヘル、一方ハ預證券一方ハ質權設
定書トシテ、ソレカラチャント各箇條ガ舉ゲアルノデアリマス、(「其通り」ト呼フ者アリ)事
實其通りデアリマス、ソレカラ又品物ヲ出ストキニ二人行カナケレバナラヌト云フコトデアリ
マス、ソレハ中ニ一人摘ッテ悉ク倉ヘ行クナシテソナト遠ナコトデアリ出セルモノデヤナ
イ、唯其切手ニ依テ其切手ヲ持ッテ倉庫ヘ行クト、倉庫デハ其切手ニ依テ在庫品ヲ出
ス、ソレニ對スル代價ヲ倉庫會社ガ受取ッテ銀行ニ廻シテ來ル、チャント約束ハ附イデ居
ルノデアル、トテモソナナ疎イコトデアハ出來マセヌ、併シ此上ハ議論ニナリマスカラ申シマセ
ヌガ、一ツ當局者ノ方デモ御詮議ニナツタラ宜イデセウ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 此倉庫證券ノコトニ付キマシテハ、實際其
局ニ當ラレテ居ラル、經驗ヲ積ミ、攻究ヲ重ネテ居ラル、御話デアリマスガ、併シ倉庫證
券ノコトニ付キマシテハ、無論唯今御述ベニナリマシタコトハ十分承知シテ居リマス、而シ
テ尙其通りノコトニ能ク研究モ致シ承知ハ致シテ居ルノデ、唯今他ノ政府委員ノ述ベマ
シタ點ハ様式ニ於テ違ッテ居ルカラ適用ハナイト、斯ウ云フ意味ニ歸スルノデゴザイマシテ
ソレハ其通りデアル、ソレデ特約ヲシマシテ切符ヲ以テ引出スト云フノモソレモヤツバリ同
行ト同ジ意味デアリマス、ソレデ左様ナコトハ無論出來ルコトハ論ハナイノデアリマス、サ
ウ云フ契約ガアレバ……

○片岡直溫君 ソレハ強イテ御問ハ致シマセヌガ、其次ノ違ッテ居ルノハドウ云フ譯デ
スカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 預證券ト質入證券トハ必ズ違ッテ居ル……
倉荷證券ノ方ハ同一ノ人デサウシテ質權者デアル、質權者デアリマスカラドウシテモ違フ

ノデアリマス

○片岡直溫君 未ダ少シ御會得ニナツテ居ラヌヤウデスカラ強イテ申シマセヌガ、其次ノ
一箇月ノ期日ト云フノハ……

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 此一箇月ノコトニ付キマシテハ唯今御述ベ
ニナリマシタヤウナ事實デアルト差支ハアルヤウデアリマスガ、是ハ保險者ガ果シテ解除ノ
原因アリヤ否ヤト云フコトヲ十分調査ヲ致シテ、サウシテ原因アリトシタトキニ通牒スルノ
デアリマス、テ原因ガアルカナイカト云フコトヲ調査スルノハ無論、保險契約者ニ照會シ
テ扱フノデ、其期間ハ入レテナイノデアリマス、愈々慥カニ解除ノ原因ガアルト云フコトヲ承
知シテカラ一箇月ト、斯ウ云フノデアリマスカラ、ソレ程狹イ期間デハナイ積リデアリマス、
是ハ他ニモ立法例ガアルノデアリマス

○片岡直溫君 唯今ノ御說明ニ依ルト調ベラヌ間ハ勝手ニ調ベガ付ケケレドモ、ソレヲ
調ベテ其事實ヲ知ツタ後一箇月ノ中ニ當事者ガ其書面ヲ發シタナラバ宜シイ、其書面
ガ一箇月デ居カウガ五十日デ居カウガソレハ一向差支ナイ、斯ウ云フ御解釋デスナ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 無論其解除ノ意志表示ガ先方ニ居カナケ
レバイカヌノデアリマス

○片岡直溫君 ソレデ差支ガ起ルデアリマセヌカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 私ノ言葉ガ足ラナカッタカ知レマセヌガ更メテ
申シマス、行フハ發スルコトニ已ニ行フノデアルカラシテ、一箇月内ニ發スレバ宜シイ、ソレ
ガ正當ナ時期ニ到著スルコトニ效力ヲ生ズル

○片岡直溫君 正當ノ時期ト云フノハ一箇月内ニ本人ハ知ラヌデモ無論其責務ハナ
イト云フ譯デスナ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 勿論サウデアラウト思ヒマス

○片岡直溫君 ソレナラ差支ナイ

○高木益太郎君 私ハヤハリ大體ノ點デ問ウテ置キタイ、先刻來ノ模様ヲ見ルト條文
ノ上ニ付テモ賢明ナルトコロノ齋藤委員ト尊敬スベキトコロノ守屋君ト問ニ、條文ニ付
テモ議論ガアリ、ソレカラ内容ニ付テハ法律取調委員タルトコロノ花井君ト同ジク法律
取調委員タルトコロノ政府委員諸君ト問ニ頻三問答ヲヤツテ居ルトコロヲ見ルト、少シハ
百長タル感ヲ持ツ位デ、甚ダ慎重ニスベキ商法ノ草案ニ就テ遺憾ニ思フ、是ハ要スルニ
政府ガ長イ間ノ歲月ヲ費シテ審査シタルトコロノ商法ノ取調委員會ノ筆記ト云フモノヲ
本院ヘ送付シナイカラ、斯ウ云フヤウナ妙ナコトガ出來ル、條文ノ文字ニ付キ意味ニ付
テ同ジ委員間ニ意思ガ疏通セヌト云フヤウナ妙ナ結果ヲ生ズルノデアル、是ハ本案審査
ノ上及一旦審査決議シテ實行シタル上ニ於テ極メテ必要ナルコトデアルト思フ、外國ノ
裁判所ナドヲ見ルト、皆起草委員會ノ筆記ニ依テ法律ノ疑義ヲ解釋シテ、判決文ノ上
ニ起草委員會ノ討論筆記ヲ引用シテ判決ヲ下シテ居ルノガ幾ラモアル、所ガ我國デハ甚
ダ不親切ニモ衆議院ノ而モ會期ガ迫ツタ場合ニ、此法案ヲ提出シテ委員會ノ筆記スラ
御提出ガナイト云フコトハドウ云フ次第デアル、委員會ハ公開ヲシナイシ、其筆記ハ本院
ヘ送付シナイト云フノハ、第一ニ私ハ甚ダ不親切デアルト思フガ、此委員會ノ筆記ト云
フモノヲ政府ハ徹頭徹尾御出シニナラヌ積リデアルカ、ドウデアルカト云フコトヲ第一ニ

同ツテ置キタイ、ソレカラ第二ハ先刻松田君カラ質問ノアリシタ、名ヲ會社ニ藉リテ其實詐欺ヲスルトコロノ行爲ト云フモノガ澤山行ハレテ、今度ノ商法ノ改正ト云フモノハ政府ノ言明スルトコロニ依テ見テモ、實際上ノ必要ガ土臺アル、從來ノ學者ノ机ノ上ノ議論トハ違フ、現在ノ社會ニ現ハレタル事實上ノ必要ト云フモノガ商法改正ヲ促シタル根據アルト仰ニナル以上ハ、何故ニ今日ノ合資會社ト云フモノニ百ノ中九十九マデハ多クハ財産差押ヲ免レタルメニ執達吏ノ強制執行ヲ免レンタメニスルト云フコトハ、松田君ノ所論ノ如クアル、ソレニ付政府ハ十分ナル審査モセズ、取調委員會ハ議論モナカッタト云フヤウナ御話アル、是ハ實ニ法律取調委員會ト云フモノハ何ノタメニ設ケタノカ殆ド譯ガ分ラヌ、今日ノ商業興信所ノ報告ト云フモノヲ政府委員諸君ハ見テ居ラル、カドウカ、合資會社ト云ヘバ皆財産差押ヲ免レンタメニ「カミサン」トカ子供ナドヲ會社員ニ拵ヘルト云フコトハ、毎日ノ登記簿ノ謄本ヲ見テ其額觸ヲ見ルト直ク分ル、ソレヲ此委員會ニ於テハ一回モ意見ノ交換モシナイデアルナリ、何ノタメニ一體アルノデアルカ、實際上ノ必要ト云フヤウナコトヲ言フケレドモ、實際上ノ必要、現實必要ナルモノニ對シテ何デ調査ヲナサヌカ、此點ニ對シテ十分ノ意見ヲ聽キタイ、尙商法ニ於テ公ノ規定ニ反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ檢事ノ請求ニ因リ、又ハ裁判所ノ職權ヲ以テ會社ノ解散ヲ命ズルコトガ出來ルト云フコトガアル、之ニ付テ今松田君ニ對スル答辯ニ依ルト、其違法行爲廢業ノ訴ヲ起シタル宜カラウト云フヤウナ齋藤君ノ御意見モアッタケレドモ、ソナナ手續イコトデ宜イノデアルカドウアルカ、又サウ云フ點ニ付テ今マデ司法處分ニ付シタルコトガアルカドウアルカ、若シ付シタルコトガアルトスレバドウ位ノ統計ガ舉ツテ居ルカ、此邊ニ付テ充分親切ナル答辯ヲ聽キタイ、モウ一ツ會社ノコトニ付テ共同代理人——或ハ支配人或ハ會社ノ法定代理人ト云フモノニ付テ、共同代理ト云フ新シイ規定ヲセラレタノデアリマスガ、是ガ東京ニ於テ常ニ顔ヲ見テ居ルトコロノ繼續シタ取引ヲスル者ノ間ニ於テナラバ誠ニ便宜ニ行ハレルカモ知レマセヌケレドモ、此共同代理ト云フモノ、公ニ示ス方法ハドウ云フ工合ニナサル御考デアアルカ、或ハ政府委員ノ立場カラ言ウト、登記デ宜イト云フ御説ガアルカモ知レヌケレドモ、一遍位新聞ニ登記手續ヲ見テ某會社ノ代人ハ二名以上ナケレバ其法律行爲ト云フモノハ無効ニスル、斯ウ云フヤウナコトニシタルコトガ田舎カラ偶ニ旅客デモ東京ニ來テ居ル人間トカ、唯一時ノ取引ヲスル人間ト云フモノハ、甲ノ會社ニハ二名ノ法定代理人ガアリ、乙ノ會社ハ一名ノ法定代理人アル、二名アル場合ニ一名ト取引シタル場合ニハ無効デアルト云フヤウナコトニナルト、今日ノ保險會社又ハ銀行ト云フモノハ詐欺師ニ利用セラレテ居ルトコトガ多イノデアルガ、若シ詐欺師ガアッテ田舎者ヲ引掛ケヤウト云フ考デ、チヨット一回新聞カ何カニ登記手續ヲシテ二名デナケレバイカヌト云フコトニシテ置イテ、其實田舎カラ來テ居ル者ヲ捉ヘテ商取引ヲスルヤウナ場合ニ、一人ノ人間ニ取引サシテ置イテ、愈ト云フ場合ニハ一人デヤッタデアルカラ會社ハ其責任ヲ任ジナイト云フヤウナコトヲ言ッテ、損害ヲ被ル者ガ非常ニ多クナリハセヌカ、第三者ノ利益ヲ害スルヤウナコトガ多クアリハセヌカ、ソレ等三付テハ一體ドウ云フ司法省部内或ハ法律取調委員會等ニ於テ調査ガアッタデアルカ、折角商法ガ出來タケレドモ亦詐欺師ニ利用セラレ、ト云フヤウナコトニ付テ、十分調査ガ出來テ居ルカドウアルカ、其點ニ付テ説ヲ聽キタイソレカラ會社ノ監督ノ

方法デス、前回ニ於テ吾々ノ常ニ尊敬スル長島君カラ公許監督役ノコトニ付テ質問ガアッタト云フコトアルガ、公許監督役ノ制度ヲ取ラヌデモマダ外ニ法律取調委員會ニ於テ善意ノ第三者ヲ保護スル——今日ノ會社ハ正シイ會社モアルケレドモ、隨分保險事業又ハ銀行事業等ニ於テ不正ノ會社モ澤山アル、又之ニ對スル政府ノ取締ト云フモノモ宜シクナイ、ソレガ爲メニ日糖事件ヲ初トシテ、今日ノ新聞ナドヲ見ルト、京都電鐵會社ニ於テ通行税ニ付テ何カ惡サヤッタト云フコトモ新聞ニ出テ居ル、此ノ如キ類ノ違法行爲ヲ會社ノ重役ト云フモノガアル場合ニ、ドウ云フ工合ニ一體取締ヲスル考デアアルカ、唯罰則ハカリ重クシタルコトデ、預金者若ハ保險契約者ハ會社ノ役人ガ懲役ニ行ケバソレ損害ノ取返シガ出來ルト云フモノデハナイ、サウ云フ場合デナク、平生ノ會社ニ對スル取締方法ト云フモノヲ御提案ニナッタヤウナモノハカリデナク、尙斯ウ云フ工合ニヤッタ宜カラウト云フヤウナコトニ付テ、法律取締調查委員會又ハ政府部内ニ於テドウ位説ガ出タカ、其説ヲ精シク聽キタイ、近頃亞米利加ノ主義ヲ見ルト會社ニ付テハ公開ニ主義ヲ採テ居ル、ソレ等ノ點ニ付テドウ云フ説ガアッタカ、是モ極肝要ノコト、思フカラ説ヲ聽キタイ、其他尙細カイコトハアリマスケレドモ、マダ他ニ質問ナサル方ガアリマセウカラ、私ハ其點ダケニ止メテ此點ニ付テ詳密ナル御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ノ法律取調委員會ノ速記録ヲ提出セヨト云フコトニ付キマシテハ、是ハ御目ニ懸ケテ一向差支ハナイノデアリマスガ、マダ整理ガ付キマセヌノデゴザイマス、ソレ故ニ直ニ提出ハ出來マセヌ、而シテ其整理ハ何時出來マスガ、唯今ノトコロ當ガアリマセヌ、ソレ故ニ或ハ恐ラクハ委員會ニハ提出ガ出來ナイモノト存ジマス、左様ニ御答ヲ致シマス、第二ノ點ニ付キマシテハ是ハ先程松田君ニモ御答致シマシタ通り、此問題ニ付テ全ク考ヘナイトハ申シマセヌ、始メハ全ク無カッタノジヤナイケレドモ、先程申上ケマシタヤウナ理由デ、是ハ商法中ノ規定ニ必要ハナイ斯様ニ認メタノデアリマス、統計表ノ御要求デゴザイマスガ、斯様ナ統計ハ出來テ居リマセヌ、ツマリ合資會社ノ全體ノ統計ハ出來テ居リマスガ、其合資會社ガ財産ヲ隱匿スルタメニ設立サレタ合資會社アル、ソレ等ノ區別ノ統計ハ出來テ居リマセヌカラ、ソレハ差上ケルコトハ出來マセヌ、共同代理ノ點ニ付テ御質問デゴザイマスガ、是ハツマリ登記制度ニ對スルトコロノ全般ノ御非難ト拜聽スルヨリ外仕方ガナイ、共同代理ノ一回ノ登記ガ不満足デアルト仰ニナレバ、會社ノ代表者ノ一回ノ登記モヤハリ不完全ト云フコトニナル、會社ノ代表者デアルト云フコトヲ一回登記シタルコトデ、ソレガ世間ニ分ラナイト云フコトニ、ツマリ判斷サレタルニナル、是ハ共同代理ト一個人トヲ問ハズ其非難ハアルデアラウト思フ、此點ニ付キマシテハツマリ現行法ノ登記制度ノ非難デアラウト存ジマスガ、此點ニ付テハ是マデ意見ヲ聞カナイ、一回ノ登記デアルガタメニ會社ノ代表者ヲ誤ッテ詐僞ニ雇ッタト云フ非難ハ聞キマセヌ、之ヲ以テ御答ト致シマス、ソレカラ第四ノ會社ノ監督ニ付テ御質問ニ御答シマスガ、是ハ私カラ高木君ニ申上ケルマデモナク、日本ノ會社法ハ自由主義ヲ取ツタ、業務ノ性質ガ行政上ノ監督ヲ要シマセヌ限リハ、其設立モ業務ノ執行モ總テ自由主義ヲ取ツテ居リマス、此自由主義ヲ取ツテ居ル會社ノ規定中ニ、會社ノ監督ト云フ主義ヲ加ヘマスルコトハ、是ハ一旦モトノ免許主義カラ自由主義ニナリ、更ニ又元ニ返ッテ監督主義ニ立返ルト云フノデアッテ、斯様ナ

主義ハドウモ政府ハ是認スル譯ニ行キマセヌデアリマス、ソレ故ニ是ハ採用スル限リデモナカラウト思フ、問題ニモナリマセヌデス

○長島鷲太郎君 私ハ數多質問ヲ持テ居リマスガ、唯引續キデアリマスカラ、先以テ高木君ノ質問ニ對シテ御答シタコトニ付テ尙質問シタイノデス、高木君ノ質問ノ第一デアリマシタガ、政府ノ法案ノ御提案ニ付テハ從前ヨリ委員會ノ速記録等ヲ御提出ニナラナイト云フノハ、吾々モ平素甚ダ遺憾ニ思フ居ルノデス、是ハ本會ノミデハナイ、現司法大臣及ヒ現政府委員ノ與カル先ニ於テモ、ヤハリ現行商法等ノ提出ニ當リマシテモ委員會ノ速記録等ヲ御提出ニナツテ居ラヌト云フコトハ、凡ソ大法典ヲ立法府ヘ協贊ニ掛ケルト云フニ於テ、私ハ甚ダ不親切ノ仕方デアルト云フコトヲ其當時ヨリ考ヘタノデアリマス、恐ラクハマダ整理ガ著カヌタメニ、今日マデ御提出ニナツテ居ラヌノカモ存ジマセヌ、ソレト又同一ノ運命ヲ又今回ノ法案ニ見ルト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フデアリマス、相成ベクハ委員會ハ成立致シマシテモ委員會ノ速記録ト云フモノハ、世間ニ公表サレルヤウニ願ヒタイノデアリマス、是ハ法典ヲ審査スル上ニ於テ又其疑義ヲ糺シテ正鵠ヲ得ルト云フ上ニ於テハ、委員會ノ筆記ト云フモノガアル方ガ法典運用ノ上ニ於テ、大變ニ便利デアルト思ヒマスカラ、縱令此場ニ於テ御提出ニナラヌニ致シマシタコロガ、將來ニ於テハ御提出ニナルコトヲ私ハ希望シテ置クデアリマス、第二三松田君及ヒ高木君ノ御質問ニナツタコロノ會社ノ形ヲ變ヘテ、サウシテ財産ヲ隱蔽スルト云フ例ハ澤山アルデアリマス、サウシテ實際ノ上ニ於テハ此ノ一度法人ノ形式ヲ變ヘタモノヲ崩スト云フ道ガナイ、齋藤君ハ刑法ノ財産隱蔽ノ方法ノ以テ取締ル規定ノ中デアアル、別ニ商法ノ中ノ規定ヲ取締ル必要ハナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタケレドモ、海難救助ノ如キモ今日ハ問題ニナツタ、私ノ實際ノ考カラ申セバ、獨逸ニ斯ノ如キ立法例ガアルニシタコロガ、一體海難救助ノ如キ規定ト云フモノハ特別ノ法律ヲ制定スルノガ順序デアアル、今回商法ノ改正案ヲ出シタ位デアレバ、殊更ニ法人ト云フ形式ヲ其成立ノ時カラ崩スト云フ規定ハ商法ノ中ニ入レナケレバナラヌ、民法或ハ刑法ノ中ニ規定シテアルヨリハ、寧ロ商法ノ中ニ規定ヲ設ケル方ガ私ハ當然デアルト思ヒマス、其點ニ付テ政府ハ御再考ヲ下サル御考デアアルドウカ伺ヒタイ、是ハ政府ノ實際ノ執務家が研究ヲシテ常ニ苦シンデ居ルコトデアリマシテ、幸ニ商法ノ改正セラレル時デアリマスカラ、政府ノ實際家が苦シンデ居ルモノヲ此法案ノ通過ト共ニ解決スルコトハ極メテ必要ナコト、考ヘル、此點ニ付テハ政府ノ御一考ヲ煩シタイ、ソレカラ今度ハ共同代理、是ハ數年來ノ懸案デアツテ吾々モ共同代理ノコトヲ主張シタコトガアリマス、又聞クトコロニ依リマスルト云フト、此共同代理ニ掛ケテ居リマスルタメニ外資ヲ輸入シテ會社ヲ設立スルコトガ難イト云フコトヲ聞イテ居ル、果シテサウ云フ意味デハ此共同代理ガ出來テ居ルモノトシタナラバ、私ガ今日伺ハナケレバナラヌ點ガアルノハ、支配人が共同ブスル場合或ハ會社ノ取締役ガ共同スル場合ハ御規定ニナツテ居リマス、殆ド取締役同様ノ權限ヲ持テ居ル支配人ヲ何故ニ御設ケニナラヌノデゴザイマス、外國ノ立法例ヲ見マスルト、支配人ト取締役ト云フモノガ共同スル場合ハ幾ラモアリマス、又實例ノ上ニ於テモ斯樣ナコトガ生ズベキコトデアルト思フ、例ヘバ支配人ハ一名ト思ヒマス、而シテ取締役ノ中ニ於テハ所謂專務取締役常務取締役ガアリマスカラ、共同代理ノ必要ガアルト云フナラバ、支配人ト專務取締役ト共同シ、若クハ專務取締役ト常務取締役ト共同シテ代理スルト云フ必要ガアル、此點ニ付テハ政府ハ御考ニナツタカ、此點ニ付テ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 合資會社ノ點ニ付テハ御質問デゴザイマスガ、是ハ先程松田君高木君ノ御質問ニ對シテ御答致シマシタ通り、成程此會社ノ根本カラシテ潰シテシマフト云フ方法モ或場合ニ必要デゴザイマセウガ、財産隱匿ヲ防グタメ——財産隱匿ヲ防グト申スヨリハ、隱匿シテ財産ヲ取戻スタメニハ出資ノ行爲ヲ取消スト云フ方モアリマスルシ、別段規定ヲ致シマセヌデモ宜カラウト云フ考デアアルデアリマス、次ノ共同代理ノ點ニ付キマシテ取締役ト支配人トノ共同代理ハ必要デナイカト云フ御尋デアリマスガ、ソレモ研究ヲ致シマシタ、且外國ノ立法例ニアルコトモ分ツテ居タデアリマス、是ハ左程必要モアルマイト云フ考デ規定致シマセナカッタデアリマス、ツマリ此點ハ長島君ト政府ノ考ガ違ツテ居ルデアリマス、ソレダケ御答致シマス

○鈴木總兵衛君 マダ問ヒタイコトモアリマスケレドモ、今日ハ是デ散會ヲ望ミマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 此次ニハ成ベク質問ヲ終了シタイト思ヒマスカラ——若シ尙質問ガ澤山アリマスヤウナラ、委員長ハ逐條ニ付テ質問スルヤウニシヤウト思フ、ドウモアツチヲ突ツイタリ此方ヲ突ツイタリ仕方ガナイ

○松田源治君 大體ノ質問ヲ終ヘマシテ、小委員會ヲ開クコトニスベシ

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ソレモ宜カラウ、其點ハ明後日マデ考ヘテ置キマセウ、皆サンモ考ヘテ置イテ下サイ

○長島鷲太郎君 小委員會ヲ開クニシテモ、モウ少シ質問ヲシナケレバナラヌ

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 次回ハ十日ノ午前十時カラ午後ニ引續テヤリマス、散會

午後三時五十四分散會

明治四十四年三月十日印刷

明治四十四年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局